



## 平成27年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月7日

上場取引所 東

上場会社名 萩原工業株式会社

コード番号 7856 URL <http://www.hagihara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 萩原 邦章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事業支援部門長

(氏名) 吉田 淳一

TEL 086-440-0860

四半期報告書提出予定日 平成27年9月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年10月期第3四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第3四半期	16,548	0.9	1,828	13.8	1,857	16.6	1,155	15.1
26年10月期第3四半期	16,397	4.6	1,606	5.9	1,593	0.4	1,003	0.9

(注) 包括利益 27年10月期第3四半期 1,426百万円 (33.8%) 26年10月期第3四半期 1,066百万円 (△25.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第3四半期	155.25	—
26年10月期第3四半期	134.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第3四半期	24,071	70.2	16,894	70.2		
26年10月期	24,011	68.4	16,430	68.4		

(参考) 自己資本 27年10月期第3四半期 16,893百万円 26年10月期 16,429百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	20.00	—	30.00	50.00
27年10月期	—	20.00	—		
27年10月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	3.7	2,500	17.2	2,500	16.5	1,600	12.3	216.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年10月期3Q	7,448,800 株	26年10月期	7,448,800 株
27年10月期3Q	215,045 株	26年10月期	5,015 株
27年10月期3Q	7,441,459 株	26年10月期3Q	7,443,785 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績など明るい兆しも見られるものの、海外景気の下振れリスクもあり、全体として回復の足取りが重いまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「新たな創業へ、奮起せよパイオニア精神」を基本方針とする中期経営計画(MI53)の目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおります。

その結果、売上高165億48百万円(前年同四半期比0.9%増)、営業利益18億28百万円(前年同四半期比13.8%増)、経常利益18億57百万円(前年同四半期比16.6%増)、当第3四半期純利益11億55百万円(前年同四半期比15.1%増)となりました。

## [合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、円安による輸入製商品の仕入価格の上昇の一方、原油価格の下落等による原材料価格の値下がりなど、不透明な事業環境となる中、個人消費の回復の遅れや、土木建築分野の市場環境悪化などにより、生活関連資材、一般産業資材を中心に国内販売は依然厳しい状況が続いております。一方海外向けでは、ラミクロスシート、コンクリート補強繊維が堅調に推移しました。インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、労務費や電力費の上昇、また円安に伴う日本向け輸出品の収益性低下が継続する中、収益確保に努めました。中国の子会社「青島萩原工業有限公司」におきましても、円安に伴い日本向け輸出製品の収益性が悪化しました。

その結果、売上高130億57百万円(前年同四半期比2.4%減)、営業利益14億35百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。

## [機械製品事業]

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器は、フィルム分野では海外向けに偏光板用、二次電池用の特殊機及び国内と東南アジア向けに食品関連軟包装用が、紙分野ではフォトプリント用及び検針用が堅調に推移しました。

押出関連機器は、食品容器用及び高機能樹脂用が堅調に推移しましたが、リサイクル関連機器は、市場の慎重な設備投資姿勢により低調な動きになりました。

その結果、売上高34億91百万円(前年同四半期比15.9%増)、営業利益3億92百万円(前年同四半期比46.8%増)となりました。

## (2) 財政状況に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は240億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円の増加となりました。資産の部では、流動資産は146億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億96百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等及び賞与引当金の減少により、現金及び預金が6億41百万円減少したこと等によります。

固定資産は94億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億56百万円の増加となりました。これは円安により在外子会社の固定資産の円換算額が増加したこと等によります。

負債の部では、流動負債は56億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億59百万円の減少となりました。これは未払法人税等が1億60百万円及び賞与引当金が1億67百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定負債は15億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億54百万円の増加となりました。これは主に退職給付に係る負債が増加したこと等によります。

純資産の部は前連結会計年度末に比べ4億64百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は70.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月8日に公表いたしました業績予想の変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用につきましては、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が174,287千円減少、退職給付に係る負債が129,574千円増加し、利益剰余金が196,355千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,461,077	3,819,556
受取手形及び売掛金	5,909,609	5,885,254
商品及び製品	1,053,821	1,145,597
仕掛品	1,835,613	2,108,002
原材料及び貯蔵品	791,577	854,235
その他	752,169	794,697
貸倒引当金	△1,996	△2,083
流動資産合計	14,801,871	14,605,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,209,541	2,183,272
機械装置及び運搬具(純額)	2,291,878	2,492,629
工具、器具及び備品(純額)	79,970	112,797
土地	2,233,452	2,233,452
建設仮勘定	115,424	340,978
有形固定資産合計	6,930,268	7,363,131
無形固定資産		
その他	235,795	186,944
無形固定資産合計	235,795	186,944
投資その他の資産		
保険積立金	1,314,002	1,194,402
その他	729,950	721,889
貸倒引当金	△313	△40
投資その他の資産合計	2,043,639	1,916,251
固定資産合計	9,209,702	9,466,326
資産合計	24,011,574	24,071,587

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,837,539	2,347,071
電子記録債務	—	200,552
短期借入金	1,200,328	1,146,860
未払法人税等	434,763	274,428
賞与引当金	477,203	309,884
製品保証引当金	47,434	54,658
その他	1,205,747	1,310,008
流動負債合計	6,203,017	5,643,464
固定負債		
長期借入金	561,800	656,882
役員退職慰労引当金	305,087	212,419
退職給付に係る負債	358,349	516,018
その他	153,165	147,846
固定負債合計	1,378,403	1,533,167
負債合計	7,581,420	7,176,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,393,185	1,393,185
利益剰余金	12,719,815	13,306,524
自己株式	△2,752	△395,933
株主資本合計	15,888,633	16,082,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,268	42,074
繰延ヘッジ損益	8,796	32,820
為替換算調整勘定	293,982	549,520
退職給付に係る調整累計額	213,585	187,176
その他の包括利益累計額合計	540,632	811,591
少数株主持分	888	1,202
純資産合計	16,430,154	16,894,955
負債純資産合計	24,011,574	24,071,587

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)
売上高	16,397,176	16,548,939
売上原価	12,189,726	12,030,357
売上総利益	4,207,449	4,518,581
販売費及び一般管理費	2,601,281	2,690,543
営業利益	1,606,168	1,828,037
営業外収益		
受取利息	1,661	2,995
受取配当金	1,876	2,113
受取保険金	52,154	87,133
その他	25,308	34,266
営業外収益合計	81,001	126,508
営業外費用		
支払利息	13,213	12,175
売上割引	25,551	24,941
為替差損	18,712	15,416
保険解約損	—	12,960
一部指定関連費用	21,853	—
自己株式取得費用	—	22,080
その他	14,044	9,006
営業外費用合計	93,375	96,581
経常利益	1,593,794	1,857,965
特別損失		
設備移転費用	—	44,644
特別損失合計	—	44,644
税金等調整前四半期純利益	1,593,794	1,813,320
法人税等	590,324	658,003
少数株主損益調整前四半期純利益	1,003,469	1,155,317
少数株主利益	38	63
四半期純利益	1,003,430	1,155,253

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,003,469	1,155,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,737	17,806
繰延ヘッジ損益	△3,692	24,023
為替換算調整勘定	62,765	255,788
退職給付に係る調整額	—	△26,409
その他の包括利益合計	62,809	271,209
四半期包括利益	1,066,278	1,426,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,066,210	1,426,212
少数株主に係る四半期包括利益	68	314

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月8日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式210,000株の取得を行いました。

この結果、自己株式は当第3四半期連結累計期間に393,181千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において395,933千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年11月1日至平成26年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	13,383,962	3,013,214	16,397,176	—	16,397,176
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	34,981	34,981	△34,981	—
計	13,383,962	3,048,195	16,432,157	△34,981	16,397,176
セグメント利益	1,338,722	267,446	1,606,168	—	1,606,168

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年11月1日至平成27年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	13,057,484	3,491,454	16,548,939	—	16,548,939
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	129,533	129,533	△129,533	—
計	13,057,484	3,620,988	16,678,472	△129,533	16,548,939
セグメント利益	1,435,505	392,532	1,828,037	—	1,828,037

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。